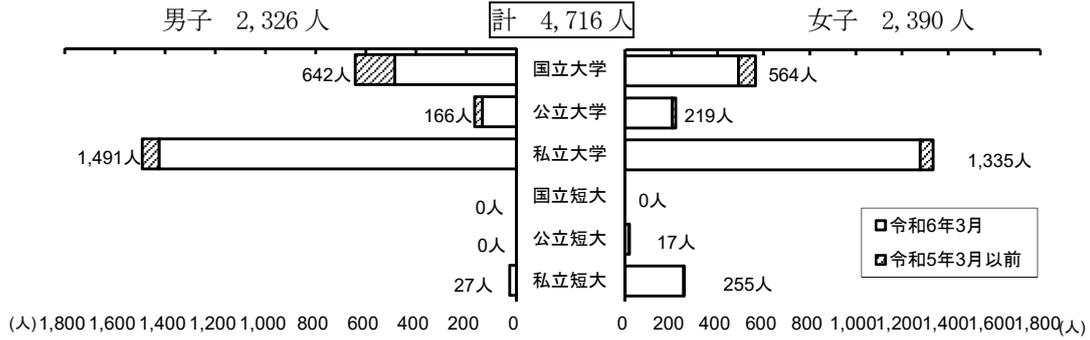


令和6年度 高等学校卒業後の進学状況調査の概要(公・私立)

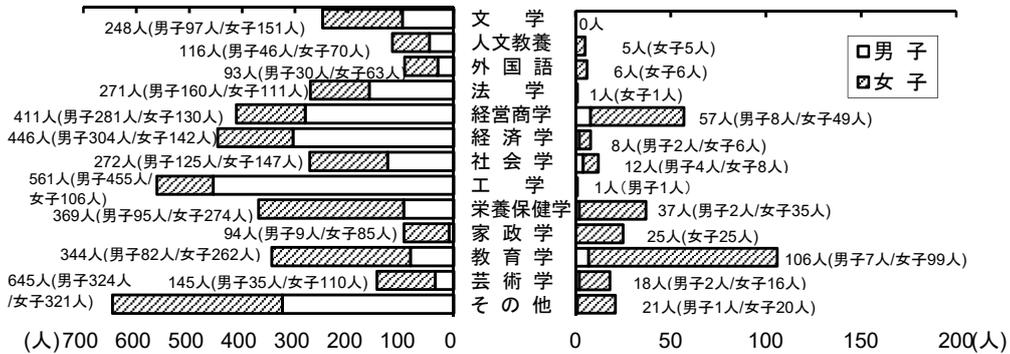
【大学(学部)・短期大学(本科)の設置者別進学者数】(令和6年3月卒業者、令和5年3月以前の卒業者含む)



- 令和5年3月以前の卒業者を含む大学(学部)・短期大学(本科)への進学者4,716人を、進学先の大学・短期大学の設置者別にみると、男子、女子とも私立大学が最も多く(男子64.1%、女子55.9%)、次いで国立大学の順となっている。(男子27.6%、女子23.6%)
- 過年度卒業生の進学割合は、全体の8.6%となっており、内訳を見ると、男子では11.0%、女子では6.2%を占めている。

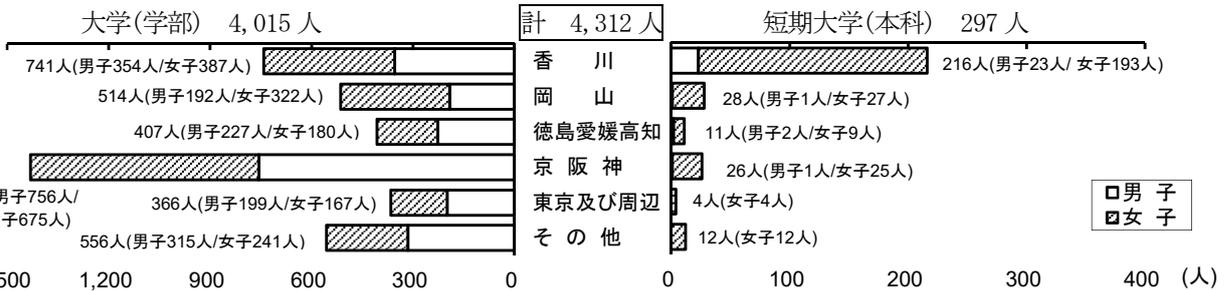
【大学(学部)・短期大学(本科)の専攻分野別進学者数】(令和6年3月卒業者のみ)

大学(学部) 4,015人 計 4,312人 短期大学(本科) 297人



令和6年3月卒業者のうち、大学(学部)・短期大学(本科)への進学者4,312人を大学・短期大学の専攻分野別にみると、大学では工学系561人(構成比14.0%)、経済学系が446人(構成比11.1%)、経営商学系が411人(10.2%)の順となっている。また、短期大学では、教育学系が106人(35.7%)、経営商学系が57人(19.2%)、栄養保健学系が37人(12.5%)の順となっている。

【大学(学部)・短期大学(本科)の所在地別進学者数】(令和6年3月卒業者のみ)



- 大学(学部)・短期大学(本科)への進学者を大学・短期大学の所在地別にみると、県内進学者は957人(22.2%)、県外進学者は3,355人(77.8%)で、県内への進学率は前年度より0.2ポイント低下している。
- 県内進学率を大学・短期大学別にみると、大学は18.5%、短期大学は72.7%で、短期大学の県内進学率は前年度より3.8ポイント上昇している。

(注) 1. 公立、私立の全日制・定時制課程卒業者の進学状況である。

2. 所在地別の「京阪神」とは、京都府・大阪府・兵庫県、「東京及びその周辺」とは、東京都・千葉県・茨城県・埼玉県・神奈川県をいう。

資料：香川県教育委員会「高等学校卒業後の進学状況調査」